米軍輸送機ＣＶ22・ＭＶ22 両オスプレイの飛行訓練に反対し、飛行中止を求める意見書

米国防省は今年 5 月 12 日、米空軍機横田基地に垂直離着陸輸送機ＣＶ22 オスプレイ 10 機を配備すると発表した。そしてこの訓練空域に長野県、群馬県、新潟県 3 県にまたがる自衛隊高々度訓練空域「エリアＨ」（ホテルエリア）を含めるとしている。

また、すでに普天間に配備されたＭＶ22 オスプレイの訓練空域には北アルプスを含む「ブルールート」を含めている。

この両空域はいずれも上信越、妙高戸隠、中部山岳国立公園で、長野県の最大の観光地である。この地域がオスプレイの訓練空域として低空飛行訓練などが行われるならば、観光上はもとより県民生活に重大な影響を及ぼしかねない。さらにオスプレイは事故率が他軍用機より格段に高いと言われており、もし事故等が起きれば大変な事態になる。

以上により、米軍垂直離着陸輸送機ＣＶ22 オスプレイ、ＭＶ22 オスプレイの「エリアＨ」・「ブルールート」等における飛行訓練に反対し、その中止を強く要請する。

以上、地方自治法第 99 条の規定により意見書を提出する。

平成２７年１２月１７日

内閣総理大臣　　あて
外務大臣
防衛大臣

飯山市議会議長　　佐藤　正夫